

## 4月のことば ～挨拶、人の心を動かすもの～

桜咲く。

寒い間の大震災は全てを奪い、多くの人々が苦しんでいて、日本中が心痛む思いでいます。しかし、自然はきちりと季節をめぐらせて、春の風を吹かせます。春風は柔らかなれど、何事も深く包み込んで癒す力と、朽ち枯れているものを蘇<sup>よみがえ</sup>らせ、生命を育む途方もない力があります。

自然に学ぶは人の道<sup>みち</sup>。

人の生活は公私にわたり、我意<sup>わがい</sup>を人に理解して貰おうとする活動です。人に自分の意見をわかってもらうには、「理論と感情」が必要。

今の情報化社会では「理論」である数値や、文章マニュアルや、システム上の理屈があたかも、その意見を通し、社会を動かすが如く思えますが、実は「情緒的な感情」が人の心に響き、社会を動かしているのです。

人への情緒的な感情。

つまり、「あの人はいい人。」「あの人の為やったら」「あの人が言う意見は聞こう」と発展していくのです。この感情を育む第一は“挨拶”。

挨拶は…。

はじめは目と目が合うと軽く礼。次は一言、季節、天候の事、「寒いでんなァー」「今日は少し暖かいですねェ」「雨かなあ。」等。後、柔らかな話題より……………と発展します。

大人も子どもも、春風の如く、まずは挨拶から、そして人の立場を思える包容力が、人と社会を動かします。

---

＊

＊

(次回からは「生きる力を育む、賢い人づくり ～ 活動②」のつづきをお話します。)